

# 心の栄養剤No161 「あけましておめでとうございます」

「人に喜ばれ笑い声の絶えない一年に!!」

春日大社権宮司、岡本彰夫氏の心に響く言葉より…

目に見えないものは存在しない。はたして本当にそういい切れるのでしょうか？

電波や音波は、見えないけれど存在します。だから目に見えない世界が「ない」とは断言できないわけです。「瑞気(ずいき)」とは「めでたい気」「新鮮で、かつ美しい気」という意味ですが、昔の人は、この「瑞気」をいかに家や体に取り込むかに苦心したものです。たとえば神棚に飾る榊(さかき)の枝は、毎月1日と15日に取り替えます。榊は「栄える樹」で「サカキ」。つまり、榊の持っている、常に栄え続ける瑞々(みずみず)しい気を家の中に取り込むために飾る。

「健全なる肉体に健全なる精神が宿る」というのは、西洋の考え方です。

東洋ではその逆で、「魂を健全にすれば自ずと肉体も健全になる」と考え、魂をいかに健康に活発化するかということをお大切にしました。

家に「瑞気」を呼び込むのは、魂に活力を与えるための行為です。

**正月に正装をし、いつもと違う雰囲気身を置くことも、「瑞気」を呼び込むための方法の一つです。**

家を建てるときは、地鎮祭をして祝い、上棟祭をして祝い、落成してまた祝います。

そしてその都度、大工さんにはお酒やご祝儀をさしあげます。

ところが最近、建築の契約金の中にすべて含まれているという理由で、「ご祝儀なんて無駄なことだ」と考える人が増えているようです。

昔の人は、なぜ、無駄と思えるようなことをしたのでしょうか。

それは人を悦(よろこ)ばせるためなのです。

つまり、地鎮祭や上棟祭にお酒やご祝儀を出して、宴をし、大工さんや職人さんに悦んでもらう。

その悦びの歌声や笑い声が「瑞気」を呼びます。

その瑞気を新しい家に取り込むと、そこに住む人は幸せになれます。

こんなふうに、昔の人は常に物事を活性化することを考えていたのです。

「瑞気」を呼ぶと家が栄えます。

来客が多い家は栄えるといいますが、人々で賑わい、談笑が絶えないと活気が家に充満し、繁栄をもたらすのです。

家だけではありません。人もそうです。陰気な人では瑞気は呼べません。

何事にも前向きで陽気な人には瑞気も集まってきます。

笑うことが大切で、神様もよくお笑(わら)いになることが『古事記』にも書かれています。

中村天風師は、原因不明の難病になったとき、師匠であるカリアッパ先生から、「**いくら体の具合が悪くても、心の具合まで悪くならない**」と教えられたという。

「今日は体の具合が悪い」といくら言ったとしても、それで治ることはないからだ。

それよりも、「**心はさわやかだ**」「**どんどん元気が出てきた**」と先に心を喜ばせた方が、**体もつられてよくなっていく**。

東洋では、「**魂を健全にすれば自ずと肉体も健全になる**」と考える。

つまり、明るく笑っておおらかにすごし、魂が健全であれば、自ずと、めでたいことが玄関先に集まってくるという、「瑞気集門」。

**人に喜んでもらい、笑い声の絶えない職場や家でありたい。**



## あけましておめでとうございます

### 本年(2019年)誓い

今年はどうな時でも「大丈夫～大丈夫」と自分に  
ダイジョウブ ダイジョウブ

言い聞かせ「顔晴」って夢や希望を「叶え」  
ガンバ カナ

ながらどんどん「優しく」「優れた」人に少し  
ヤサ スゲ

でも近づける一年を目指します!

くすりのキュート(救人) 倉光 浩城

### 漢字解説

#### ① 「大丈夫～大丈夫」

「大丈夫」の文字には、それぞれ「人」という字が入っています。何かあったとき、どんなときにも支えてくれる「人」が必ず「3人」いるという意味です!!

※例外なく味方が常に3人いると言う事に気づく事、そして感謝するという文字です。

#### ② 「顔晴れ」

お日様が照っている時みたいな晴れ晴れした顔(笑顔)で、顔晴れば～ほんとうに不思議と逆境も楽しくなれるという意味 ※辛い時こそ笑うんだ!! (顔晴れ)

#### ③ 「叶う」

「吐く」という字は～「口」に+-(プラス・マイナス)と書く、「叶う」という字は、そこからマイナスを取った状態です。

※プラスをいっぱい口にして、愚痴なんかのマイナスを控えると「叶う」のです。

#### ④ 「優しく」「優れた」

この漢字の中の「憂」いとは、「百」の「心」を「受」けると書きます。そして受け止める「力」を身につけた「人」→「イ」は「優」という文字になり「やさしい」と読みます。

※漢字はすごいと思うのは、何と「優」しいは「優」れてるとも読める所です!!

今年は4月で平成が終わり、5月新しい年号がスタートする年で、個人的にも3月の誕生日で晴れて還暦(60歳)となります。

“くすりのキュート”も平成元年4月にオープンして30年!  
新たな年号をまたぐ事になります!

このいろんな意味で記念すべき年を、私個人も「くすりのキュート」も新しくスタートする気持ちで、今まで以上に研鑽に励み、少しでも皆様に「くすりのキュート」があって助かった、私(倉光)と出逢えて良かったと思ってもらえるよう、一日一日、一期一会の気持ちで頑張ります!!

